

## 令和8年度当初予算案 歳出(教育委員会)

(単位:千円)

款	項	令和8年度 当初予算案	令和7年度 当初予算額	差引増減
3 福祉生活費	2 児童福祉費	30,495	30,836	△ 341
10 教育費	1 教育総務費	8,141,758	7,795,342	346,416
	2 小学校費	38,853,217	36,519,677	2,333,540
	3 中学校費	24,534,284	23,048,350	1,485,934
	4 高等学校費	32,997,672	34,840,603	△ 1,842,931
	5 特別支援教育費	13,175,062	13,603,314	△ 428,252
	7 社会教育費	2,546,195	2,147,266	398,929
	8 保健体育費	4,288,452	1,400,403	2,888,049
11 災害復旧費	4 県立学校施設災害復旧費	100,000	100,000	0
<b>教育委員会 計</b>		<b>124,667,135</b>	<b>119,485,791</b>	<b>5,181,344</b> (+4.3%)
	うち事業費	構成比 (18.3%) 金額 22,845,494	構成比 (20.3%) 金額 24,313,238	(△6.0%) △ 1,467,744
	うち人件費	構成比 (81.7%) 金額 101,821,641	構成比 (79.7%) 金額 95,172,553	(+7.0%) 6,649,088

# 令和8年度当初予算案の概要(教育委員会関係)

(単位:千円)

事業名	8年度 当初予算案	7年度 当初予算額	事業概要	所管課
1 遠隔教育システム構築事業	58,890	62,237	どの地域においても生徒の可能性を最大限に伸ばし、個に応じた多様できめ細かな高校教育を提供するため、遠隔授業等を実施する。 【新】遠隔教育配信センター(大分上野丘高校内)からの遠隔授業の拡大 R7開始4校:臼杵、佐伯鶴城、日田、宇佐(理系の2・3年生対象) R8開始8校:高田、国東、杵築、別府鶴見丘、竹田、玖珠美山、中津南、安心院(理系の2年生対象) 科目:2年生(数学、英語)、3年生(数学、英語、物理、化学) 【新】文系生徒への遠隔授業拡大に向けた配信室の基本設計の実施(8室) ・大学受験向けの特別授業・オンデマンド動画の配信 対象:全県立普通科校の2・3年生(文系・理系) 科目:数学、英語、物理、化学 特別授業:長期休業中に双方向型で実施 オンデマンド動画:2~3学期に過去問解説を配信 【新】基本的なつまづき克服に向けた弱点補強動画の配信 対象:全県立高校1・2年生(産業教育系含む) 科目:数学、英語	教育DX推進課
特				
2 県立高校未来共創事業	47,839	0	社会に求められる人材の育成と魅力・特色ある学校づくりを図るため、地域との連携強化に向けた取組等を推進する。 ・地域との連携・協働の核となる学校運営協議会の設置拡大(9校→28校) ・地域と連携した探究学習の企画等を行うコーディネーターの配置(5校) ・市町村が行う全国募集実施校における生徒寮整備への助成 補助率 1/2 限度額 1,000万円 など	高校教育課
3 語学指導外国青年招致事業	160,041	143,488	生徒の英語力向上や国際理解を促進するため、外国語指導助手(ALT)を県立学校に配置する。 【新】ALT配置数の拡充(26人→31人)	高校教育課
4 未来を創る学力向上支援事業	81,604	73,861	小・中学校での学力向上を図るため、教員の指導力向上に取り組むとともに、先端技術を活用した授業や学力定着状況調査(小5及び中2)を実施する。 【新】AIアプリを活用した英語力の育成 など	義務教育課
5 おおいグローバルリーダー育成事業	50,040	51,176	グローバル人材を育成するため、小中高一貫した人材育成推進モデルを構築するとともに、オンライン等で世界に触れる機会を創出する。 ・スタンフォード大学など国内外の大学と連携したオンライン講座等の実施 ・海外姉妹校等との交流に必要な渡航費等の支援の拡充(3校→6校) など	高校教育課
特				
6 未来を拓くキャリア教育推進事業	7,178	0	中学生の社会参画意識を醸成し、勤労観・職業観を形成するため、企業による職業の社会的役割や求められる資質・能力に関する出前講座を実施する。(18回)	義務教育課
7 教員確保対策事業	18,345	12,728	教員を安定的に確保するため、SNSや職場体験等を通じた教職の魅力発信に取り組むとともに、県外での教員採用試験を実施する。 ・PR動画の制作やWeb広告等による情報発信 【特】教員採用試験を受験した大学生に対する有給インターンシップの実施 など	教育人事課
8 教員業務サポートスタッフ等派遣事業	558,624	516,107	学校教育活動の充実と教員の負担軽減を図るため、事務作業を支援するスクールサポートスタッフ(SSS)及びきめ細かな指導を行う学習指導員を配置する。 【特】大規模校にSSSを配置する市町村への助成の拡充 補助対象 1人/校→2人/校 68人分 補助率 3/5(国1/5 県2/5)→2/3(国2/9 県4/9) ・大規模校以外のSSSを配置する市町村への助成 補助対象 1人/校 166人分 補助率 3/5(国1/5 県2/5) など	教育人事課
9 スクールカウンセラー活用事業	261,724	248,964	児童生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー(SC)を小・中・高等学校・特別支援学校に配置する。(110人) 【特】県立高校のSC配置時間の延長(4時間/日→6時間/日) など	学校安全・安心支援課
10 特別支援教育振興事業	18,716	13,433	特別支援学校の教育の充実を図るため、教員の指導力を向上させるとともに、医療的ケア児への支援体制を充実する。 【特】訪問看護師による医療的ケア児の送迎支援(30回/年) 【特】居住地の小・中学校との交流促進 など	特別支援教育課
特				
11 運動部活動地域展開推進事業	150,485	0	教員の部活動指導の負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、部活動指導員を配置するとともに、市町村と連携し運動部活動の地域展開等に取り組む。 ・部活動指導員の配置 173人(公立中学校149人 県立高校24人) ・コーディネーターを活用し地域展開に取り組む市町村への助成 など	体育保健課
特				
12 文化部活動地域展開推進事業	24,598	0	教員の部活動指導の負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、部活動指導員を配置するとともに、市町村と連携し文化部活動の地域展開等に取り組む。 ・部活動指導員の配置 39人(公立中学校28人 県立高校11人) ・コーディネーターを活用し地域展開に取り組む市町村への助成 など	文化課
13 県立学校施設整備事業	4,354,067	5,844,196	教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎等の大規模改修など県立学校の施設や設備の整備を行う。 ・第2次特別支援計画に基づく大分支援学校や別府支援学校の施設整備 ・第1体育館の空調設備整備(令和8年度までに全校完了) 【新】第2体育館や柔剣道場等の空調設備整備 など 〔債務負担行為 824,448千円〕	教育財務課

	事業名	8年度 当初予算案	7年度 当初予算額	事業概要	所管課
14	新 市町村立学校給食費無償化事業	2,756,562	0	保護者の経済的負担を軽減するため、小学校の給食費無償化に取り組む市町村に対し助成する。 ・補助限度額 5,200円/月・人(国1/2 県1/2)	体育保健課
15	県立学校給食費無償化事業	47,745	37,961	保護者の経済的負担を軽減するため、給食を実施する県立学校の給食費を無償化する。 ・特別支援学校、定時制高校、盲学校、聾学校、豊府中学校及び学びヶ丘中学校	体育保健課
16	県立高等学校就学支援事業	2,322,453	1,942,536	保護者の教育費負担を軽減し、教育の機会均等を図るため、授業料を無償化する。 ・支援額 9,900円/月・人(国3/4 県1/4)	教育財務課
17	埋蔵文化財企画展開催事業	12,377	2,094	大友宗麟生誕500周年(令和12年)に向けた機運を醸成するため、大友宗麟ゆかりの市(大分市、臼杵市、津久見市)と連携し、埋蔵文化財センターを拠点とした企画展等を実施する。 【新】南蛮文化の影響を受けた文化財を展示する企画展の開催 【新】大友宗麟ゆかりの市と連携した歴史ガイドの育成 など	文化課

※ 新 は「新規事業」 特 は「新しいおおいたビジョン加速事業」